

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 興研株式会社

コード番号 7963 URL <http://www.koken-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 酒井 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 長坂 利明

TEL 03-5276-1911

四半期報告書提出予定日 平成25年11月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	5,105	△15.3	250	△57.8	211	△58.8	103	△67.0
24年12月期第3四半期	6,024	0.4	594	△17.2	514	△23.6	314	△6.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	20.52	20.31
24年12月期第3四半期	62.07	61.82

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	15,526	8,526	54.8	1,691.05
24年12月期	15,966	8,647	54.1	1,703.16

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 8,501百万円 24年12月期 8,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年12月期	—	0.00	—		
25年12月期(予想)				25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	0.8	650	△12.8	580	△12.4	350	△9.1	69.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年2月12日に公表いたしました業績予想からの変更が予想されますが、依然変動要素が大きいと見られ、今後状況が明らかになり次第、速やかにお知らせいたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	5,104,003 株	24年12月期	5,104,003 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	76,703 株	24年12月期	34,656 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	5,049,446 株	24年12月期3Q	5,059,079 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、本四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) セグメント情報等	6
5. 補足情報	7
(1) 品目別売上高	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成25年1月～9月)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融政策への期待感から円安・株高が進行し、海外における不確定要因による下振れリスクはあるものの、輸出産業を中心とした企業収益の改善や個人消費の持ち直しの兆しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中、当社は製造業の国内就業者数減にともなう産業用マスク需要減を補うため、医療及びクリーン分野に重点を置いた取り組みを続けております。

当四半期は、産業用マスクの需要回復が遅れていることに加え、震災特需が前年対比減となりました。そして引き合いの急増を見て期待したオープンクリーンシステム「KOACH」の受注見通しの甘さが顕かとなり、売上高は51億5百万円(前年同期比15.3%減)に留まりました。

利益につきましては、震災特需の反動減を予想し、全社的経費の圧縮に努めましたが、円安による原材料価格の高まりや新製品開発費用の増加等にともなう売上原価率の上昇等により、営業利益2億50百万円(同57.8%減)、経常利益2億11百万円(同58.8%減)、四半期純利益1億3百万円(同67.0%減)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

(マスク関連事業)

医療機関へのマスク販売では、使い捨て式防じんマスク「ハイラック」シリーズの高フィット性能が評価され、全国の保健所や感染症指定医療機関での採用が着実に進み、シェア拡大が続いております。

その一方で、産業用マスクは国内市場そのものの需要回復までには至りませんでした。その要因は、製造業の設備投資は昨年と比べ伸びているものの、マスク等については、依然として低コスト品への希求が大きい点が考えられます。

原子力施設市場に投入した電動ファン付き呼吸用保護具「BL-711H」と全面形防じん・防毒マスク「1521」シリーズは、①安全性の更なる向上、②コスト低減、③装着者の不満解決という製品コンセプトを高くご評価いただき、全国の原子力施設での採用が相次いだものの、事故処理が続く東京電力福島第一原子力発電所様の受注には現状至っておらず、小幅の売上増に留まりました。

その結果、マスク関連事業の売上高は、46億12百万円(同12.1%減)となりました。

なお、本年5月に市場参入を表明した家庭用マスクについては、第1弾の子ども用マスク「ハイラックKIDS」シリーズ3品種を10月に発売しております。同シリーズは、新型インフルエンザ等のパンデミック時に健康被害を受けやすいとされる子どもたちに、大人用と同じ高性能、高フィットのマスクを提供することを目的に開発したもので、パンデミック発生時においても月間50万枚の供給が可能な生産体制を整え、高性能を希望する母親をターゲットとして、一般消費者向けに徐々に浸透していくことを目指します。

(その他事業/環境関連事業等を含む)

オープンクリーンシステム「KOACH」については、最も軽量・コンパクトなテーブルコーチ「KOACH T500-F」に新たな動きがありました。これまでの精密機器分野に加え、京都大学iPS細胞研究所様や農研機構食品総合研究所様のDNA解析など、医学・バイオ分野から高性能を示すデータ発表が行われ、それら分野のスタンダードに成り得る機器との高いご評価も多数いただきました。今後、企業・大学等の研究施設での採用が急速に進むことが予想されます。但し、「KOACH」については、これまでのところ引き合いから受注への期間が極めて長いケースが多いことが事業の特性としてあることが判明しましたので、事業目標を継続検討物件数の増大といたしました。現在、当物件数は各代理店の積極的な販売活動もあって400件を超え、期待通りの蓄積が見られます。

また、日本政府によって「国土強靱化(ナショナル・レジリエンス)計画」という取り組みが推進されており、本年9月には、「強靱なコミュニティはどのように実現すべきか?」と題したシンポジウムが開催されました。当社は、同シンポジウムに話題提供企業ということで参加し、「KOACH」のプレゼンテーションを行ったところ、国土強靱化担当大臣から、レジリエンス時代のクリーンルームとして高いご評価をいただきました。

全自動内視鏡洗浄装置「鏡内侍」については、採用ユーザー様からの追加発注に加え、採用ユーザー様ご自身にご登場いただく消化管の医療専門誌の広告展開も寄与し、着実な実績を上げております。その一方で官公庁向けの空気浄化装置の受注は、前年対比大幅減となりました。

これらの結果、その他事業の売上高は、4億92百万円(同36.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は155億26百万円(前事業年度末159億66百万円)となり4億39百万円減少致しました。その主な要因は、流動資産が受取手形及び売掛金の減少等により5億80百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は70億円(前事業年度末73億18百万円)となり3億18百万円減少致しました。その主な要因は、流動負債は短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の減少等により4億92百万円減少した一方、固定負債は長期借入金の増加等により1億74百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は85億26百万円(前事業年度末86億47百万円)となり1億21百万円減少し、自己資本比率は54.8%(前事業年度末54.1%)となりました。その主な要因は、自己株式の取得等により株主資本が1億38百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年2月12日に公表いたしました業績予想からの変更が予想されますが、依然変動要素が大きいと見られ、今後状況が明らかになり次第、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,320,852	2,205,628
受取手形及び売掛金	3,262,641	2,503,879
商品及び製品	455,841	557,408
仕掛品	267,235	584,697
原材料及び貯蔵品	437,388	469,082
繰延税金資産	238,219	207,778
その他	202,334	74,638
貸倒引当金	△4,000	△3,000
流動資産合計	7,180,514	6,600,112
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,441,094	1,369,872
機械及び装置(純額)	830,612	836,039
土地	4,740,386	4,740,386
その他(純額)	455,233	371,389
有形固定資産合計	7,467,326	7,317,689
無形固定資産		
投資その他の資産	40,685	64,386
投資有価証券	60,616	75,609
関係会社株式	100,875	349,087
繰延税金資産	193,770	186,241
役員に対する保険積立金	838,921	841,458
その他	87,444	96,274
貸倒引当金	△4,000	△4,000
投資その他の資産合計	1,277,627	1,544,670
固定資産合計	8,785,639	8,926,746
資産合計	15,966,154	15,526,859
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,551	250,095
短期借入金	2,300,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,235,400	1,173,800
未払金	167,542	107,568
未払法人税等	—	6,107
賞与引当金	245,000	170,000
役員賞与引当金	34,600	12,000
その他	336,677	284,625
流動負債合計	4,496,771	4,004,197
固定負債		
長期借入金	2,212,700	2,407,000
役員退職慰労引当金	444,800	469,100
その他	164,403	120,094
固定負債合計	2,821,903	2,996,194
負債合計	7,318,674	7,000,391

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,265	674,265
資本剰余金	528,178	527,936
利益剰余金	7,462,956	7,428,560
自己株式	△31,340	△135,136
株主資本合計	8,634,060	8,495,625
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△161	9,488
繰延ヘッジ損益	—	△3,722
評価・換算差額等合計	△161	5,765
新株予約権	13,580	25,076
純資産合計	8,647,479	8,526,467
負債純資産合計	15,966,154	15,526,859

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,024,774	5,105,042
売上原価	3,200,301	2,789,343
売上総利益	2,824,473	2,315,699
販売費及び一般管理費	2,230,357	2,064,821
営業利益	594,116	250,877
営業外収益		
受取利息	106	246
受取配当金	1,540	1,621
受取手数料	7,723	6,611
還付加算金	—	4,248
雑収入	9,269	8,337
営業外収益合計	18,639	21,065
営業外費用		
支払利息	47,668	46,991
支払手数料	35,000	—
その他	15,536	13,134
営業外費用合計	98,205	60,126
経常利益	514,550	211,817
特別利益		
新株予約権戻入益	38,533	—
その他	3,580	—
特別利益合計	42,113	—
特別損失		
固定資産除売却損	21,502	1,315
特別損失合計	21,502	1,315
税引前四半期純利益	535,161	210,501
法人税、住民税及び事業税	103,000	72,000
法人税等調整額	118,129	34,909
法人税等合計	221,129	106,909
四半期純利益	314,031	103,592

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	マスク 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,244,786	779,988	6,024,774	—	6,024,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,244,786	779,988	6,024,774	—	6,024,774
セグメント利益又は損失 (△)	2,417,453	407,020	2,824,473	△2,230,357	594,116

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,230,357千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	マスク 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,612,449	492,593	5,105,042	—	5,105,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,612,449	492,593	5,105,042	—	5,105,042
セグメント利益又は損失 (△)	2,111,816	203,882	2,315,699	△2,064,821	250,877

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,064,821千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 品目別売上高

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)		比較増減 (△は減)
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)
防じんマスク	2,938,816	48.8	2,604,215	51.0	△334,601
防毒マスク	1,542,323	25.6	1,270,897	24.9	△271,425
防じん・防毒マスク 関連その他製品	763,646	12.6	737,336	14.4	△26,310
小計	5,244,786	87.0	4,612,449	90.3	△632,337
その他	779,988	13.0	492,593	9.7	△287,395
合計	6,024,774	100.0	5,105,042	100.0	△919,732
(上記のうち輸出分)	(175,647)	(2.9)	(128,627)	(2.5)	(△47,020)